



第7回まちづくり協議会を行いました！！

9月8日（日）に第7回まちづくり協議会を開催し、20名の方にご参加いただきました。お忙しい中、お集まりいただきありがとうございました。

協議会では、土地利用計画や特別指定区域について説明があり、これらについて意見交換を行いました。また、近年、激甚化している災害への備えとして、過去の被災歴から何をすべきかについて、学ぶことができました。



アンケート調査の結果について

住民の意向に沿ったまちづくり計画とするため、下記のとおりアンケート調査を実施しました。みなさま、ご協力ありがとうございました。

対象：永室地区に土地を所有する方（永室地区内在住・地区外在住とも）

目的：所有する土地や建物について、将来の活用意向を把握し、田園まちづくり計画に反映するため。

期間：6/30（日）～7/15（月）

配布数：237件（うち回収105件。回収率44.3%）

調査結果の一部を紹介します。

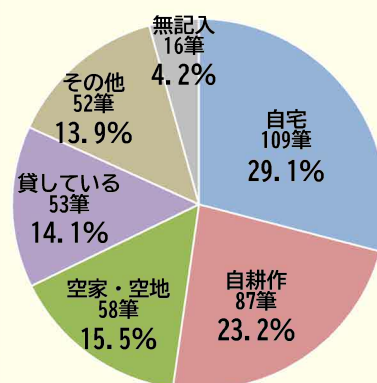
調査結果① 所有地の利用状況について

「自宅」の割合（29.1%）に対して、「空家・空地」の割合が15.5%と高く、空家問題の顕在化が懸念される。

現在の利用状況	回答数（筆）	割合（%）
自宅	109	29.1
自耕地	87	23.2
空家・空地	58	15.5
貸している	53	14.1
その他（※1）	52	13.9
無記入	16	4.2
合計	375（※2）	100.0

※1 「工場」、「駐車場」など

※2 回答105件（375筆分）を対象に集計した。



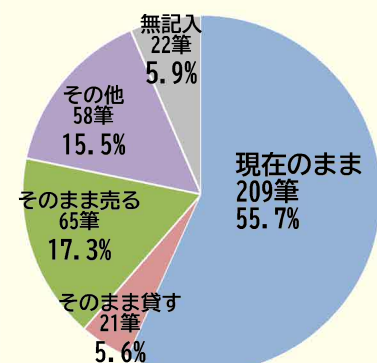
調査結果② 所有地の将来活用意向について

将来の活用意向について、「そのまま貸す」または「そのまま売る」と回答した割合は全体の約23%を占め、将来的に売却される可能性が高い結果となった。

将来の活用意向	回答数（筆）	割合（%）
現在のまま	209	55.7
そのまま貸す	21	5.6
そのまま売る	65	17.3
その他（※1）	58	15.5
無記入	22	5.9
合計	375（※2）	100.0

※1 「検討中」、「わからない」など

※2 回答105件（375筆分）を対象に集計した。



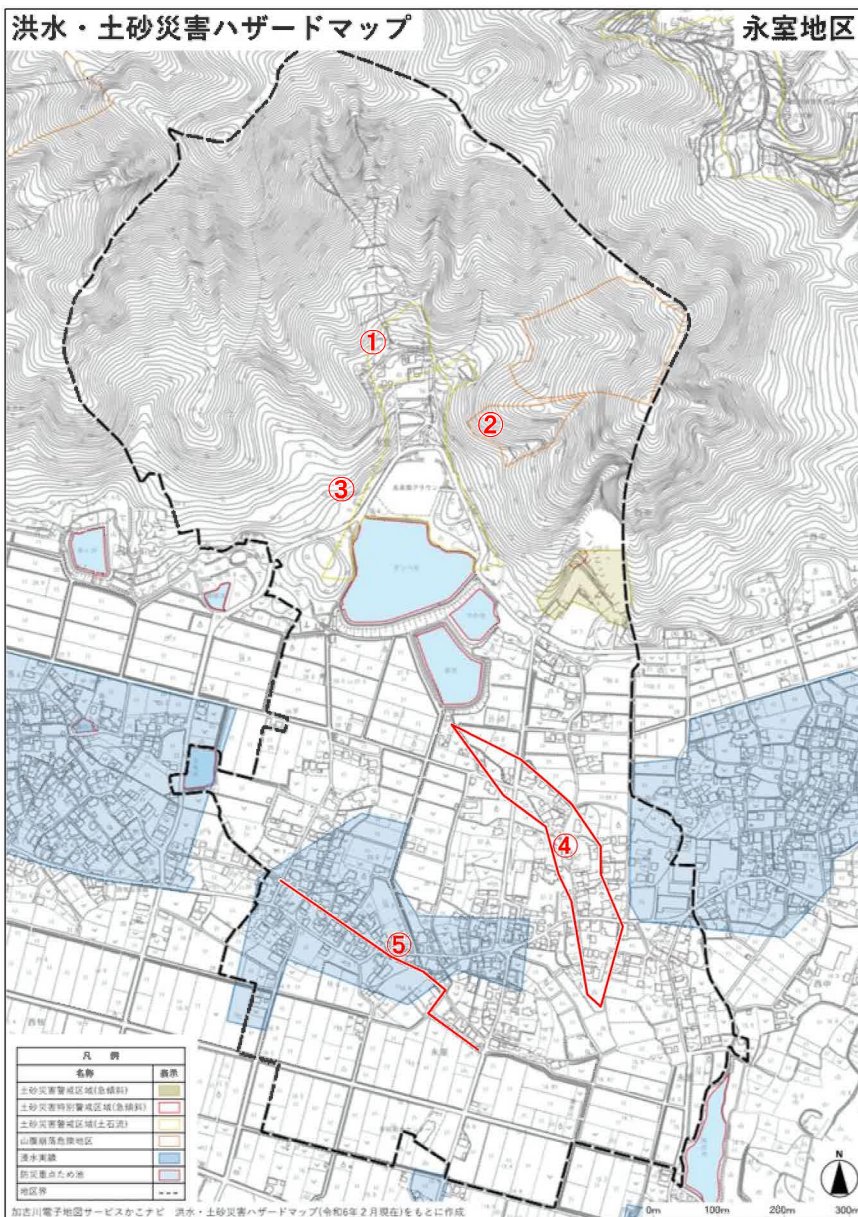
防災に関するご意見

住民一人ひとりの防災意識の向上を図るため、「地震」や「台風」などの災害を対象として、意見交換を行いました。また、ハザードマップの活用方法や、避難情報に応じた住民がとるべき避難行動について、確認しました。

ご意見

- ①昔から何度も土砂崩れが起きている。
そのたび、長楽寺は被害を受けており、ふもとの方へ少しずつ移動しながら再建されている。
- ②昔、土砂崩れがあった。
- ③昔、住宅があった。
ここに住宅があった人は、現在はふもとの集落に降りてきているようだ。
- ④かつて、ダンベ池もしくは皿池が決壊し、浸水したことがある、と知り合いから聞いたことがある。
- ⑤水路は、台風が来たら濁流になる。
このあたりは水位が上昇しやすく、水路から溢れるように氾濫が起きたこともあり、危険である。
- 今年の10月13日に地区で防災訓練を行う予定である。
- 農業が盛んな地区であるため、米などの備蓄はある程度行っている。
- 緊急時に素早く避難ができない人の情報は、地区の役員等が把握している。
- 「向こう三軒両隣」の精神でご近所同士で助け合う姿勢が重要である。

次回協議会では、まちづくりに関する方針（案）に追加すべき「防災に関する取り組み」について話し合いを行いたいと思います。



第8回協議会の開催案内

日時 10月 20日(日) 14:00～15:30

場所 永室公民館 2F

内容 土地利用計画図（案）・特別指定区域図（案）の確認
まちづくりに関する方針（案）の検討 など

お問い合わせ 永室地区まちづくり協議会会長（ ）まで ☎

中止について 加古川市でいずれかの警報・特別警報（大雨・洪水・大雪・暴風）が当日の午前8時時点で発令されている場合は中止。10月27日（日）14時開催とする。

